

# CHUBU

## 取扱説明書（保証書付）

**型式** MH28SA

### 電気グリドル

- このたびは、電気グリドルをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつもお手元においてご使用ください。
- 仕様および外観は予告なく変更する場合があります。



#### もくじ

1	安全のため必ず守ってください	1
2	設置および使用前の準備	4
3	各部の名称	5
4	使用方法	6
5	日常の点検とお手入れの方法	7
6	故障の見分け方と処置方法	7
7	仕様	8
8	保証とアフターサービスについて	8

株式会社 **中部コーポレーション**




# 1 安全のため必ず守ってください

- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、 想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、 <u>物的損害</u> の発生が、 想定される内容を示します。 *

\* 物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を意味します。

## 図記号の例

 <b>注意</b>	▲は、注意（危険・警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、 ▲の中や近くに絵や文章で表示してあります。
 <b>分解禁止</b>	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、 ⊘の中や近くに絵や文章で表示してあります。
 <b>プラグを抜く</b>	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、 ●の中や近くに絵や文章で表示してあります。

## 警告

- お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。  
損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。



損傷確認

- アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



アース工事

- 電源は専用コンセントを使用すること

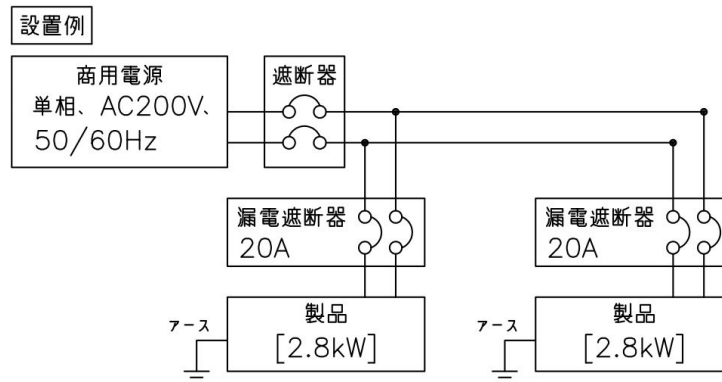
電源コードを分岐するなど、コンセントを他の機器と共用すると、  
発熱・火災の原因になります。



専用コンセント

- 本製品の1台につき1個の漏電遮断器（地絡過負荷・短絡保護兼用形・感度電流 30mA）を以下の設置例のように設置すること

本製品（2.8kW）については、定格20A以上の漏電遮断器を以下の設置例のように設置してください。  
遮断機、漏電遮断器は配電盤内に設置し配線してください。  
アースはD種接地工事を施工してください。



漏電遮断器設置

- 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

- 本製品を子供だけで使わせないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

- 電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検清掃

- 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作をしないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

- 異常時は、運転を停止し電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

●修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

●電源は単相200Vを使用すること

異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。



専用電源

●火傷に注意して使用すること

本製品を使用中や使用後しばらくは各部が高温になっている恐れがありますので、触れると火傷をすることがあります。



高温注意

●運転中は製品の使用場所から離れないこと

加熱物の温度が急上昇して発火する恐れがあり、火傷、火災の原因となります。



禁止



**注 意**

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

●長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜くか、元電源を切ること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

●廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること



専門業者

●給気口・排気口をふさがないこと

吸気口・排気口を物などでふさぐと、保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れたりことがあります。



禁止

●給気口・排気口やすきまなどに異物を入れないこと

感電などによるケガの原因となったり、製品が壊れたりする場合があります。



禁止

●オイルミストが多く発生する環境での使用は避けること

製品内部が汚れることにより、予期せぬ動作や故障の原因になります。



禁止

## 2 設置および使用前の準備

- 周囲温度 35℃以下の環境で使用してください

周囲温度が 35℃以上の環境で使用されますと、保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れたりすることがあります。

- 丈夫で平らな所に水平になるように設置してください

予期せぬ動作の原因になります。

- 本製品を水がかかる恐れがある場所に設置しないでください

感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。

- 電源は規格の電圧のものを使用してください

電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。

- 確実に給気と排気ができる場所に設置してください。

給気口・排気口を物などでふさぐと、保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れたりすることがあります。

- 製品本体が高温・多湿の空気にさらされない場所に設置してください。

感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。

- 設置は、火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第 59 条に従い設置してください。

設置に不備がある場合は火災や感電の原因となります。

### 注意

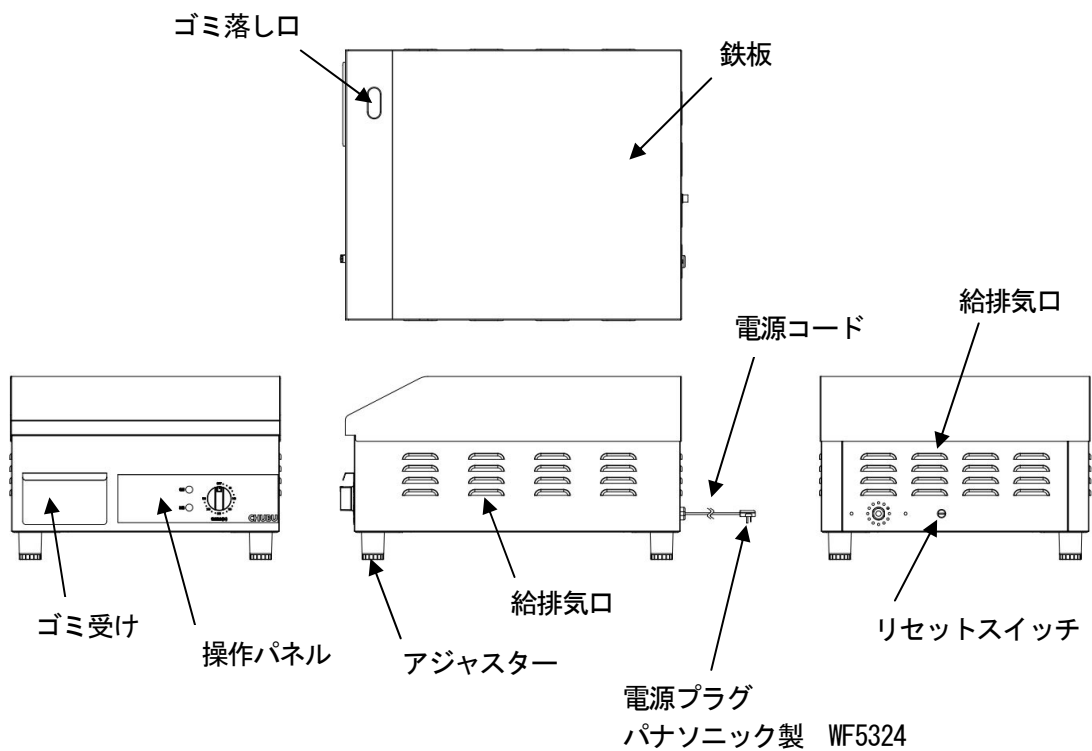
※製品本体の周囲と可燃性の壁等の距離は、20 cm以上離れていること。

※製品本体の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属（メタルラス・金属板など）と接触する場合は、電氣的に接続しないよう設置すること。

又は、製品の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属（メタルラス・金属板など）と接触しないように設置すること。（電気設備の技術基準の解説第 145 条を参照してください。）

### 3

## 各部の名称



#### 付属品

- ・取扱説明書（保証書付き）：1部

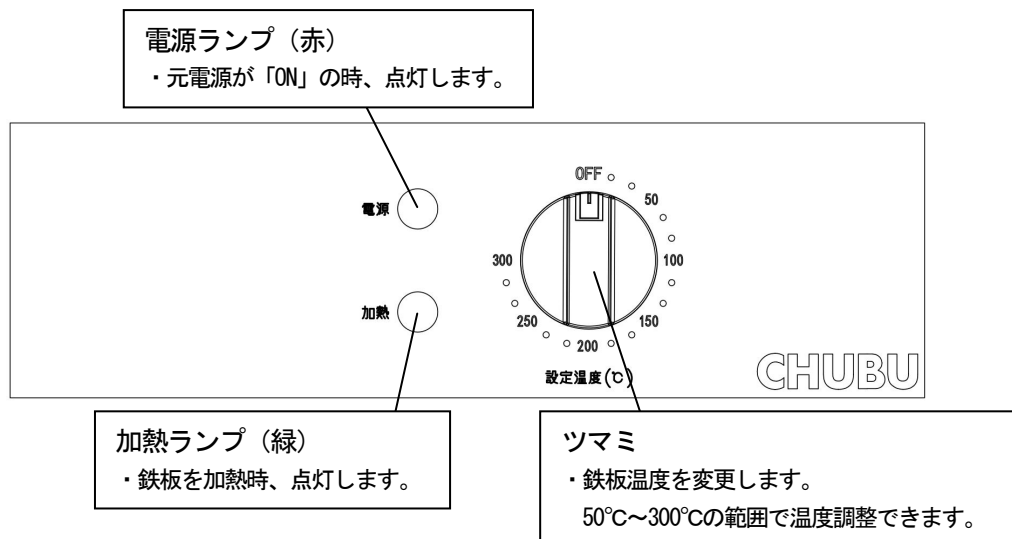
## 4 使用方法

### 初めてご使用する際

●鉄板を保護するために鉄板の表面をコーティングしていますので、使用開始前に除去してください。

- (1) 鉄板に貼られた保護シートを剥がしてください。
- (2) 操作方法に従ってコーティング剤が液化するまで加熱をしてください。
- (3) コーティング剤が液化したら、きれいな柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。

### 操作パネルの説明



### 操作方法

- (1) 元電源を「ON」にします。電源ランプが点灯します。
- (2) ツマミを時計回りに回して、希望の温度に設定します。  
加熱を開始し、加熱ランプが点灯します。
- (3) 鉄板が設定温度に到達すると、加熱を停止し加熱ランプが消灯します。
- (4) 鉄板の温度が下がると、再度加熱を開始し加熱ランプが点灯します。  
以後、(3)と(4)を繰り返します。
- (5) 加熱を停止するときはツマミを「OFF」の位置まで反時計回りに回してください。  
※ツマミを「OFF」にしても電源ランプは点灯しています。  
電源ランプを消灯するには元電源を「OFF」にしてください。

#### 注意

加熱中はツマミが熱くなっておりますので、設定温度を変更する際は注意してご使用ください。

## 5 日常の点検とお手入れの方法

- 使用されるたびにお手入れをしてください。
- お手入れする際は、必ず電源プラグを抜いてください。
- 内部に水、洗剤などを入れないようにしてください。  
事故・故障の原因になります。

### ・鉄板のお手入れ

- ・鉄板が汚れた場合は、表面が熱いうちにヘラなどを使用して取り除いてください。
- ・表面が冷めた後、硬くしぼった濡れふきんで全体を拭き取ってください。
- ・お手入れ後は、十分乾燥させた後、食用油を薄く塗ってください。
- ・こびりついた汚れはナイロンたわし、鉄板磨きなどで表面を傷つけないように汚れを落としてください。

### ・ゴミ受けのお手入れ

- ・本体から引き出し中性洗剤などで洗浄してください。

### ・お願い

- ・お手入れの際、ベンジン・シンナー・ガソリン・漂白剤・酸性類・たわしなどは使用しないでください。
- ・使用環境が悪い場合や、使用頻度が多い場合は、お手入れの回数を増やしてください。

## 6 故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、元電源をOFFにして、販売店に連絡してください。

症状	原因	処置方法
電源ランプが点灯しない	電源プラグが抜けています。	コンセントに差し込んでください。
	元電源がOFFになっています。	元電源をONにしてください。
	過昇温防止装置が作動しています。	しばらく時間をおいた後、リセットスイッチを押してください。
温度が上がらない	ヒーター又は温度調節器に異常が発生しています。	元電源をOFFにして、販売店に連絡してください。
温度が高すぎる	内部の温度調節器が外れています。	元電源をOFFにして、販売店に連絡してください。



## 7 仕様

品名	電気グリドル
型式	MH28SA
定格電源	単相 200V 50/60Hz
定格消費電力	2800W
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	450×560×305mm
質量	32.0kg
電源コードの長さ	1.8m
温度調節範囲	50~300℃
付属品	取扱説明書(本書)

## 8 保証とアフターサービスについて

**保証期間は、本体お買い上げ日から1年間です。**

保証期間中は保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。

保証期間後は診断して修理できる場合、ご要望により有料で修理させていただきます。

有料修理につきましては、事前に修理費用をご提示いたします。

修理費用は、技術料+部品代+出張料(運送費)で構成されております。

保証期間1年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後3ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。

### **保証期間中においても、有料修理となる例**

- ① 外力による破損(鉄板の破損など)
- ② 製品の設置環境が仕様に記載された条件を逸脱して、使用されている。
- ③ 電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
- ④ 製品の内部に水などの浸入が認められる場合

# メモ

# 保証書

品名	電気グリドル
型式	MH28SA
お買上日	※ 年 月 日
保証期間	1年
お客様の住所	※
お名前	※
販売店名住所	※

※必ず各欄をご記入下さい。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - 誤った使用目的・使用方法・改造・不当な修理による故障または損傷。
  - 落下・引っ越し・輸送などによる故障または損傷。
  - 火災・地震など天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - 消耗品の交換(ヒーターなど)
  - 保証書のないもの
  - 保証書の※印欄に記入のないもの。あるいは字句を書き換えられた場合
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の補償(操業補償)はいたしません。

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品とこの保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

**CHUBU**

株式会社中部コーポレーション

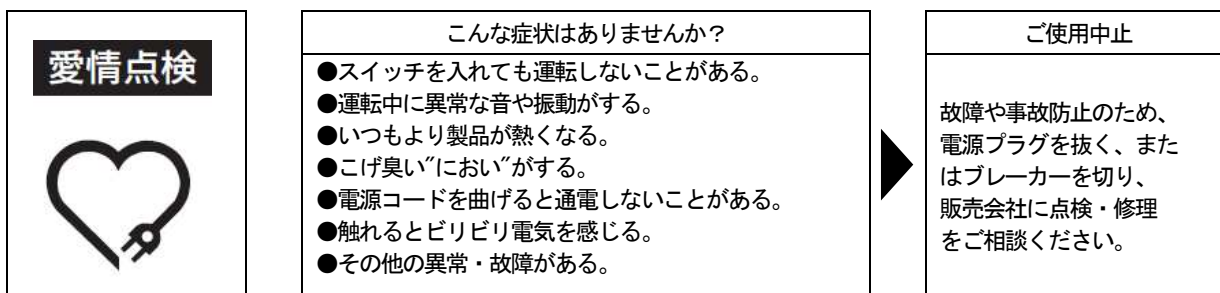
〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533-1

●修理メモ

## アフターサービスについて

- 保証書はお買い上げの販売店でお渡しします。記載内容をご確認の上大切に保管して下さい。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売店など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げ店にお申し出下さい。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読み下さい。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または、最寄りの各営業所までご連絡下さい。

### ●長年ご使用の厨房・調理機器の点検を！



# CHUBU

株式会社中部コーポレーション

フード機器事業部 / 〒 511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533-1

東京 / TEL 03 (5833) 9968 大阪 / TEL 06 (6788) 2251

中部 / TEL 0594 (32) 1130 福岡 / TEL 092 (474) 1312